

大田原市総合計画後期基本計画策定に伴う
市民意識調査の結果について（概要）

令和 3 年 3 月
栃木県 大田原市

目 次

1.調査の目的	2
2.調査の方法	2
3.回収の状況	3
4.調査結果の概要	4
ア. 暮らし向きの変化	4
イ. 暮らし向きの変化した理由の年代別内訳	5
ウ. 今後の暮らし向きで不安に思うこと	7
エ. 大田原市の住み心地について	8
オ. 大田原市の全般的な施策や事業等について	11
基本政策 1	11
基本政策 2	14
基本政策 3	16
基本政策 4	18
基本政策 5	21
基本政策 6	24
カ. 少子化に歯止めをかけるための対策	26
キ. 豊かな老後を送るために必要と思うこと	27
ク. 市民活動への参加経験及び今後参加したい市民活動	28
ケ. 今後求める市の姿	30
5.今後の対応	31

大田原市総合計画後期基本計画の策定に伴う市民意識調査の結果について

1. 調査の目的

令和 4 年度を初年度とする大田原市総合計画後期基本計画の策定に当たり、広く市民から、市政についての意見やニーズ、実情等を伺い、本市の抱える課題を抽出する。

2. 調査の方法（総合計画策定業務委託先：株式会社総合環境計画）

○調査内容は、回答者に関する性別、年齢、居住地区、職業、家族構成等の基礎項目に始まり、5年前と比べて今の暮らし向きはどうか、その理由はなぜか、今後不安に思うことは何かなど「暮らし向きについて」、「大田原市の住み心地について」、「行政への関心について」、「大田原市の全般的な施策や事業等について」、「少子高齢化について」、「今後のまちづくりについて」、「その他の自由意見」の調査項目で実施した。

○調査対象は、大田原市在住の 18 歳以上の 3,000 名を市内各地区の人口割で無作為に選出した。

○調査期間は、令和 2 年 11 月 18 日から 12 月 16 日までで実施し、回答方法は、郵送による返送のほか、幅広い年代から多くの回答をいただくため、回答しやすい環境としてインターネットによる手法も取り入れた。

3. 回収の状況

○有効回答数は、1,655 件で、そのうちインターネットによる回収は、220 件（13.3%）であり、回収率は、55.2%であった。

※参考：前回実施した調査の有効回答数 1,484 件、回答率 49.5%

○調査結果は、「70～74 歳」が 13.2%と最も高く、次いで「65～69 歳」13.1%、「80 歳以上」10.2%となっている。

○アンケート調査の回答者の年齢構成と住民基本台帳（令和 2 年 12 月 1 日時点）の年齢構成割合と比較してみると、40～44 歳及び 50 歳以上の年代の方は市の年齢別人口構成よりもアンケート調査の回答率が高く、18～29 歳は比較的回答率が低くなっている。回答者の年齢構成に起因して偏りがやや見られる傾向にある。

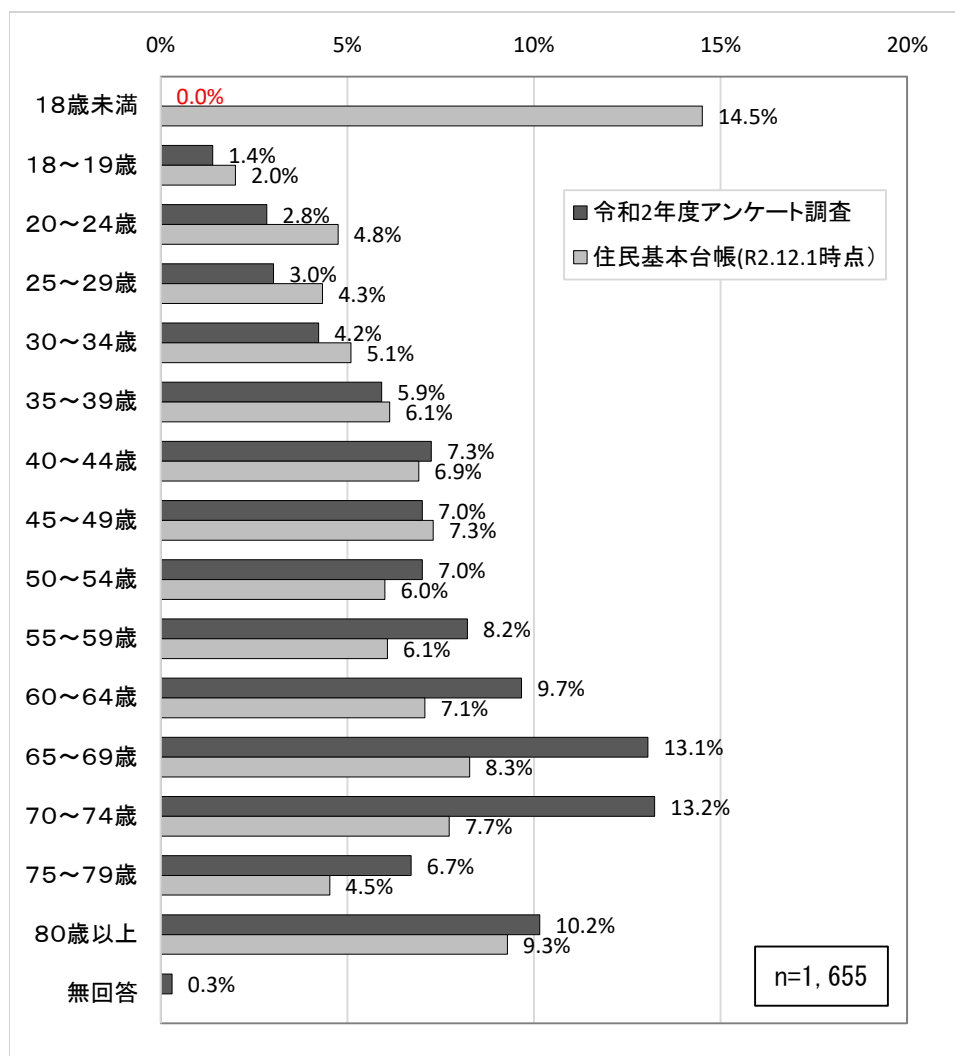


図 1 回答者の年齢構成

※今後、年代別に詳細な分析を行い、後期基本計画策定に反映させる。

4. 調査結果の概要

「大田原市総合計画後期基本計画の策定に伴う市民意識調査の結果について」は、令和2年度に実施した市民意識調査の設問を抜粋してまとめている。

ア 暮らし向きの変化（R2 調査と H27 調査の比較）

暮らし向きの変化について、「ゆとりが出てきた」は2.6%、「どちらかといえばゆとりが出てきた」は12.5%となっており、これらを合わせた“ゆとりがでてきた”は15.1%となっている。

一方、「どちらかといえばゆとりがなくなった」は26.5%、「ゆとりがなくなった」は19.9%となっており、これらを合わせた“ゆとりがなくなった”は46.4%となっている。

H27調査と比較すると、“ゆとりがでてきた”は1.6%の上昇、“ゆとりがなくなった”は10.9%の減少となっている。

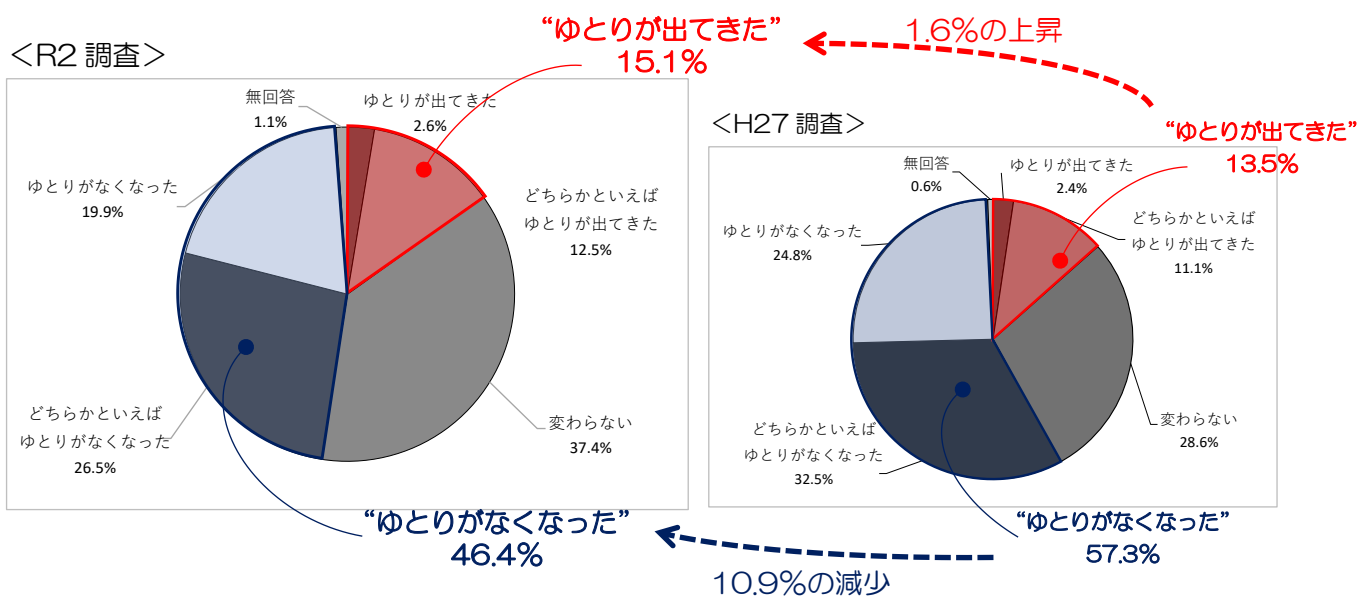


図2 暮らし向きの変化（令和2年度と平成27年度の調査比較）

イ 暮らし向きの変化した理由の年代別内訳（R2 調査）

① “ゆとりがでてきた”

暮らし向きの変化について年齢3区分（18～39歳、40～64歳、65歳以上）別にみると、18～39歳では「収入の増加」が最も多く、次いで「節約して支出を減らした」、「共働きを始めたから」になっている。40～64歳では、「収入の増加」が最も多く、次いで「子育てが終わったから」、「節約して支出を減らしたから」になっている。65歳以上では、「節約して支出を減らしたから」が最も多く、「収入の増加」、「子育てが終わったから」となっている。

子育てが終わる40～64歳で“ゆとりがでてきた”という回答率が多かったことから生活のゆとりについては、『子育て』が大きな要因となっていることが考えられる。

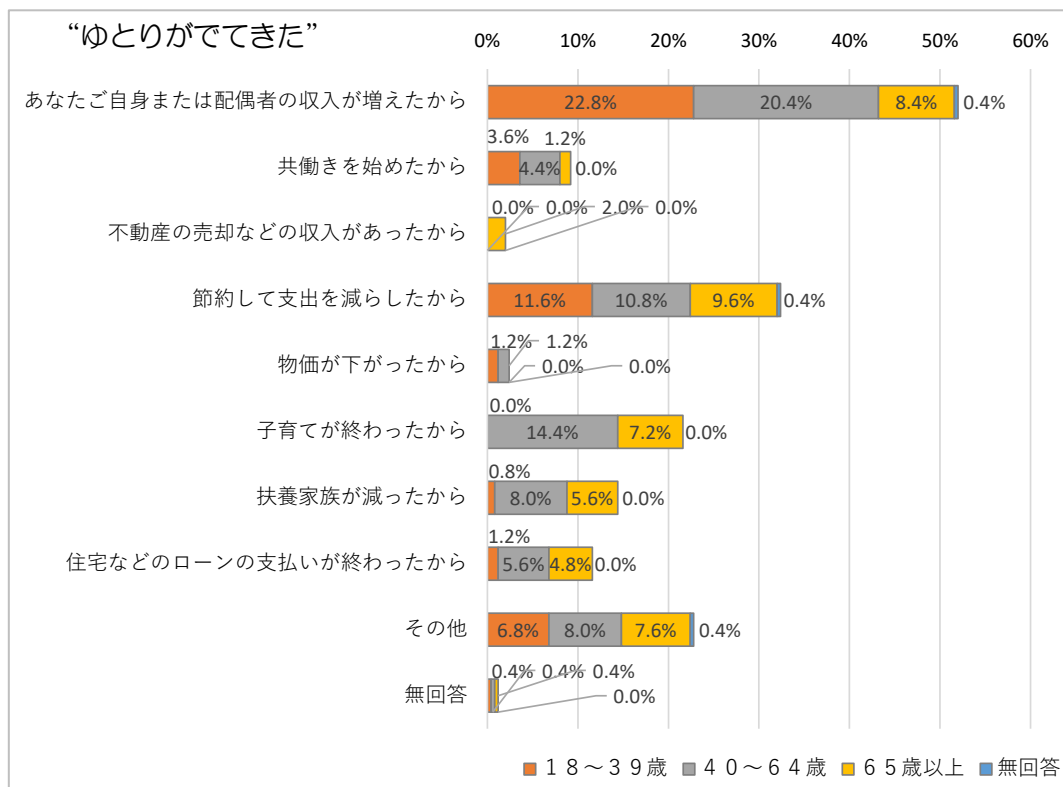


図3 暮らし向きの変化した（“ゆとりがでてきた”）理由の年代別内訳（R2 調査）

② “ゆとりがなくなった”

暮らし向きの変化について年齢 3 区分（18～39 歳、40～64 歳、65 歳以上）別にみると、18～39 歳では「収入の減少」が最も多く、次いで「子どもが生まれたから」、「物価が上がったから」になっている。40～64 歳では、「収入の減少」が最も多く、次いで「支出を増やしたから」、「物価が上がったから」になっている。65 歳以上では、「収入の減少」が最も多く、「支出を増やしたから」、「物価が上がったから」となっている。

全ての年代で「収入の減少」が“ゆとりがなくなった”要因として最も多く挙げられている。他に「物価があがったから」の回答も多くなっていた。

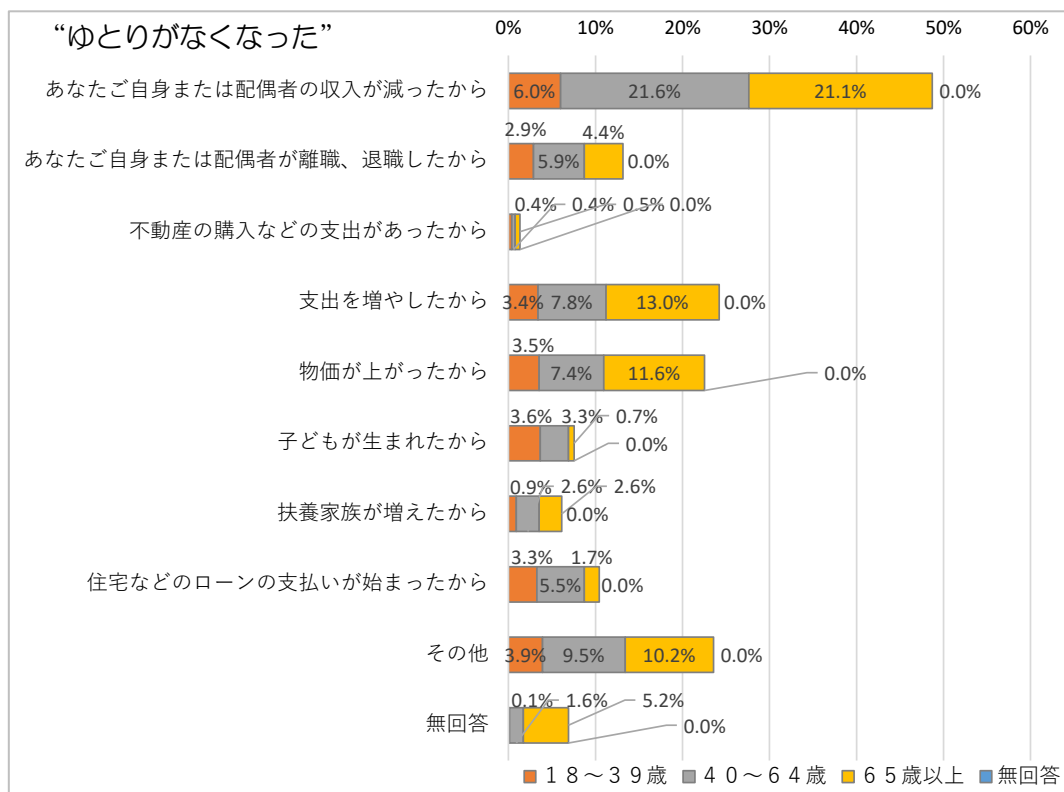


図 4 暮らし向きの変化した（“ゆとりがなくなった”）理由の年代別内訳（R2 調査）

ウ 今後の暮らし向きで不安に思うこと（R2 調査）

暮らし向きで不安に思うことをみると、「新型コロナウイルス等への感染症対策」が41.9%と最も多く、次いで「あなた自身または配偶者の収入」が38.9%、「医療費の増加」が36.2%となっている。

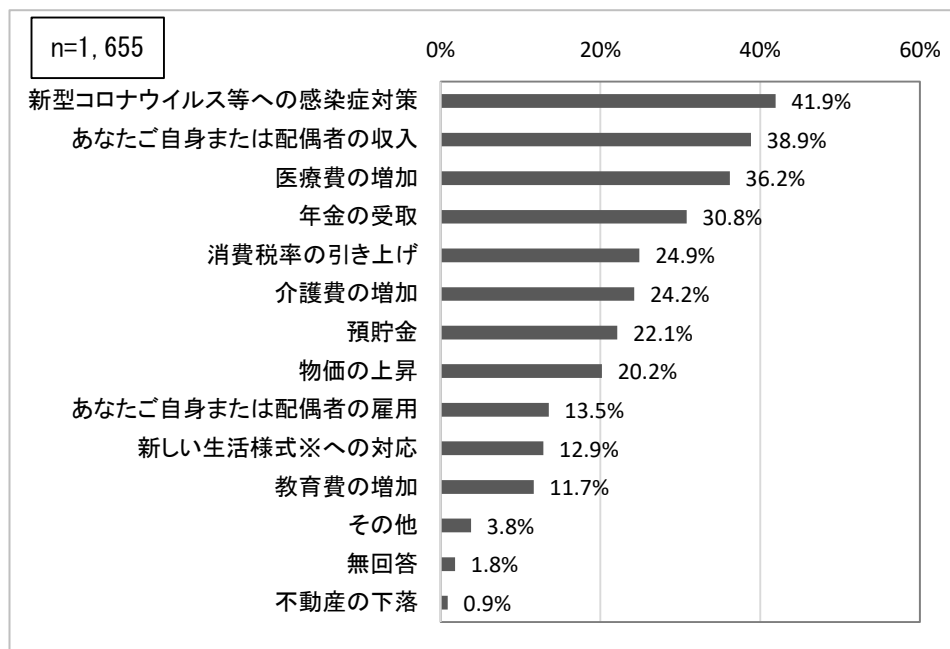


図5 今後の暮らし向きで不安に思うこと

※新しい生活様式：新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐための生活指針のこと。「マスクを着用する」「距離をあける」といった一人ひとりの対策、「咳エチケット」等の日常生活での対策、「買い物」「公共交通機関」等の日常生活の各場面での対策、「テレワーク」や「時差出勤」等の働き方の新しいスタイルへの対応があります。

エ 大田原市の住み心地について（「住み心地」、「定住意向」、「愛着」）

「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の回答が 68.6% となっており、「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」の回答が 10.4% であった。5 年前との比較は、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」が微増している。住みにくい理由（3 つまで回答可）としては、「交通が不便」、「買い物が不便」、「医療・福祉面の不安」の順で回答が多かった。

定住意向については、「ずっと住み続けたい」の回答が 44.2% となっており、「どちらかといえば住み続けたい」と合わせると回答者の 4 人に 3 人（75.1%）が「住み続けたい」と回答している。5 年前との比較は、ほぼ横ばいとなっている。

大田原市への愛着については、「強くもっている」の回答が 13.7% となっており、「ある程度もっている」が 54.7% となっている。「強くもっている」と「ある程度もっている」を合わせると 68.4% となっている。5 年前との比較は、「強くもっている」、「ある程度もっている」が微減している。

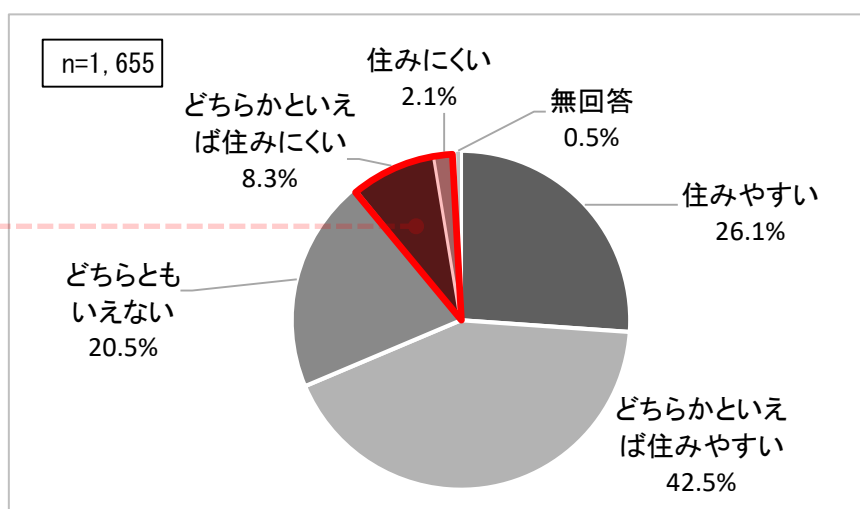


図 6 大田原市の住み心地

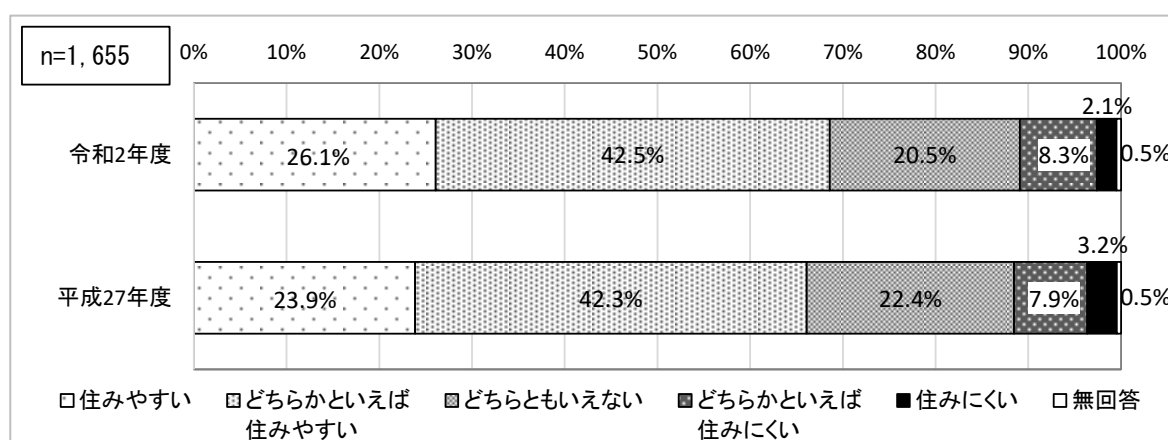


図 7 大田原市の住み心地（令和 2 年度と平成 27 年度の調査比較）

「図 6 大田原市の住み心地」の『どちらかというに住みにくい』、『住みにくい』と回答した方のみ

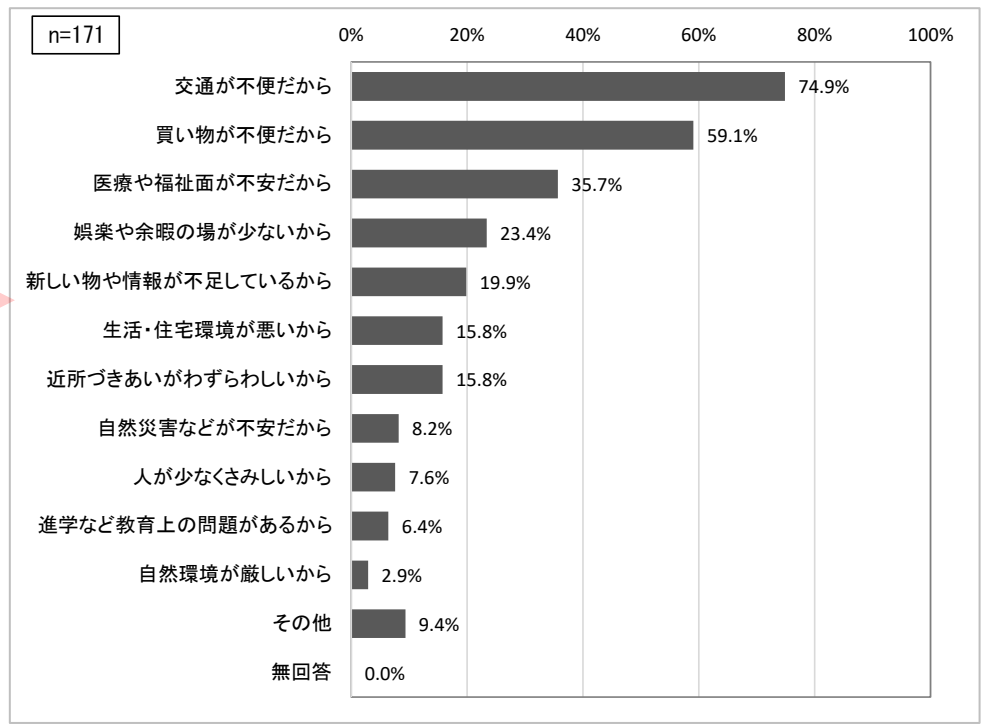


図 8 大田原市に住みにくい理由 (3つまで回答可)

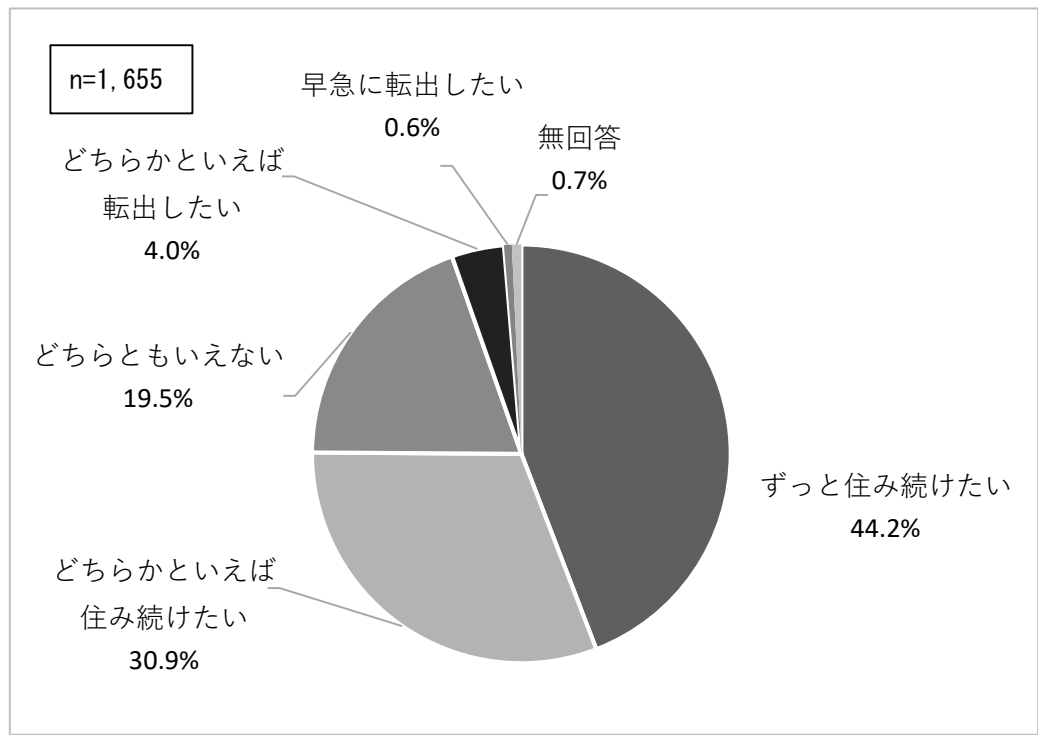


図 9 大田原市での定住意向

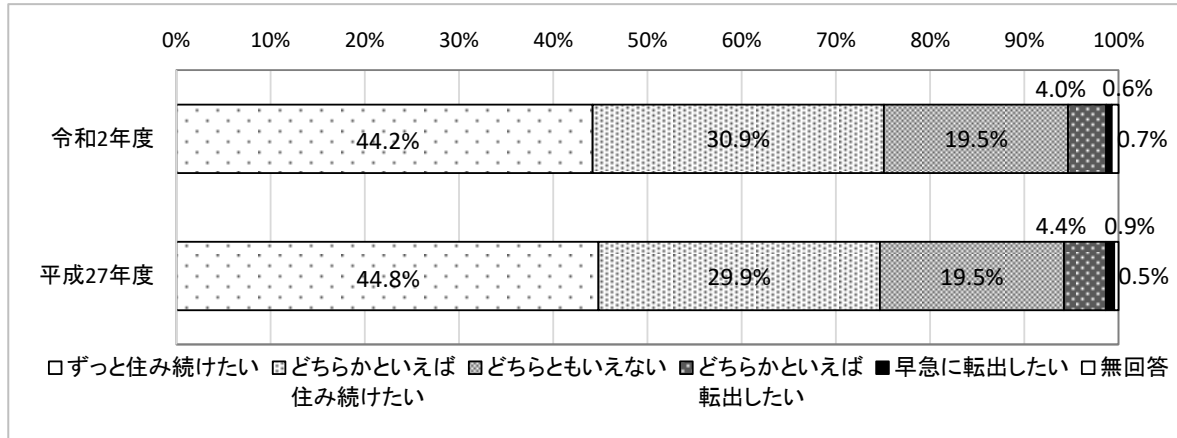


図 10 大田原市での定住意向（令和 2 年度と平成 27 年度の調査比較）

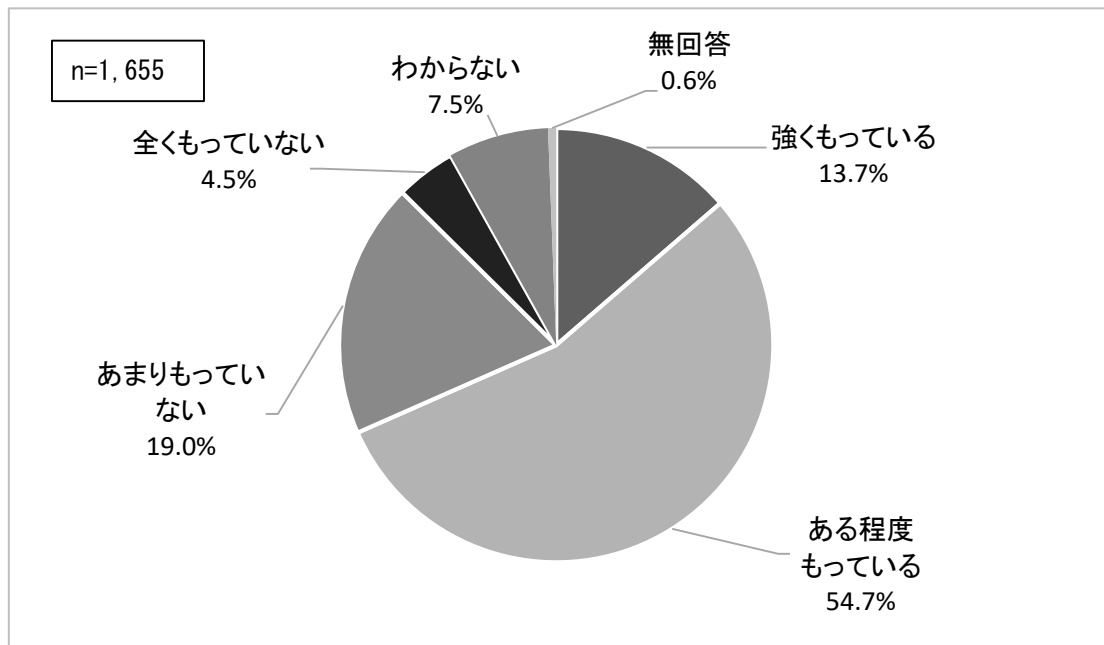


図 11 大田原市への愛着

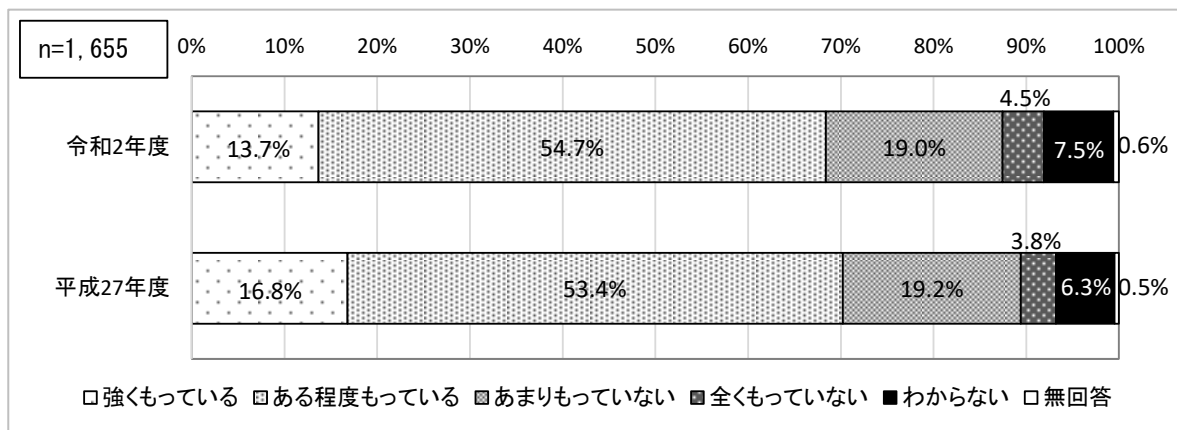


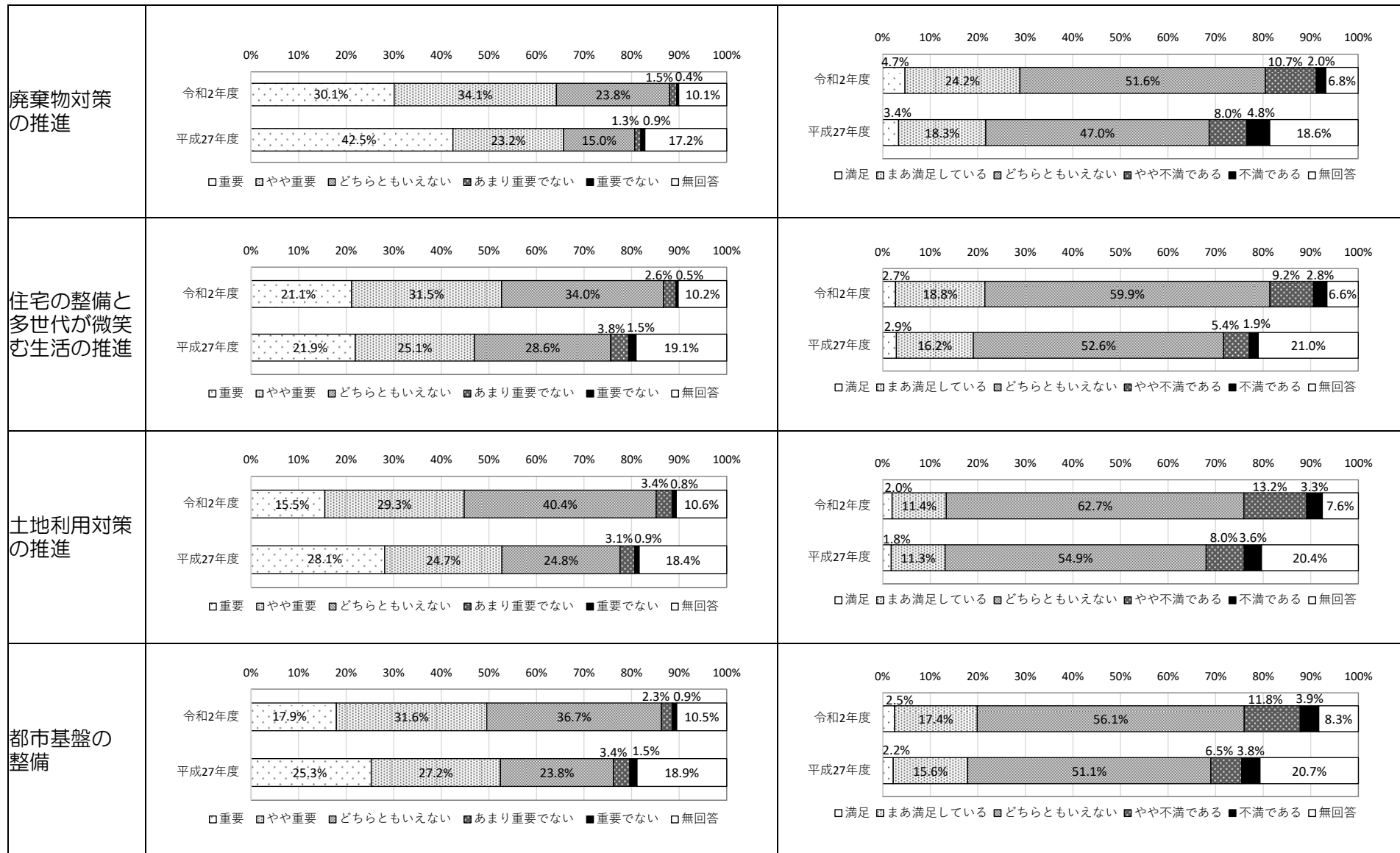
図 12 大田原市への愛着（令和 2 年度と平成 27 年度の調査比較）

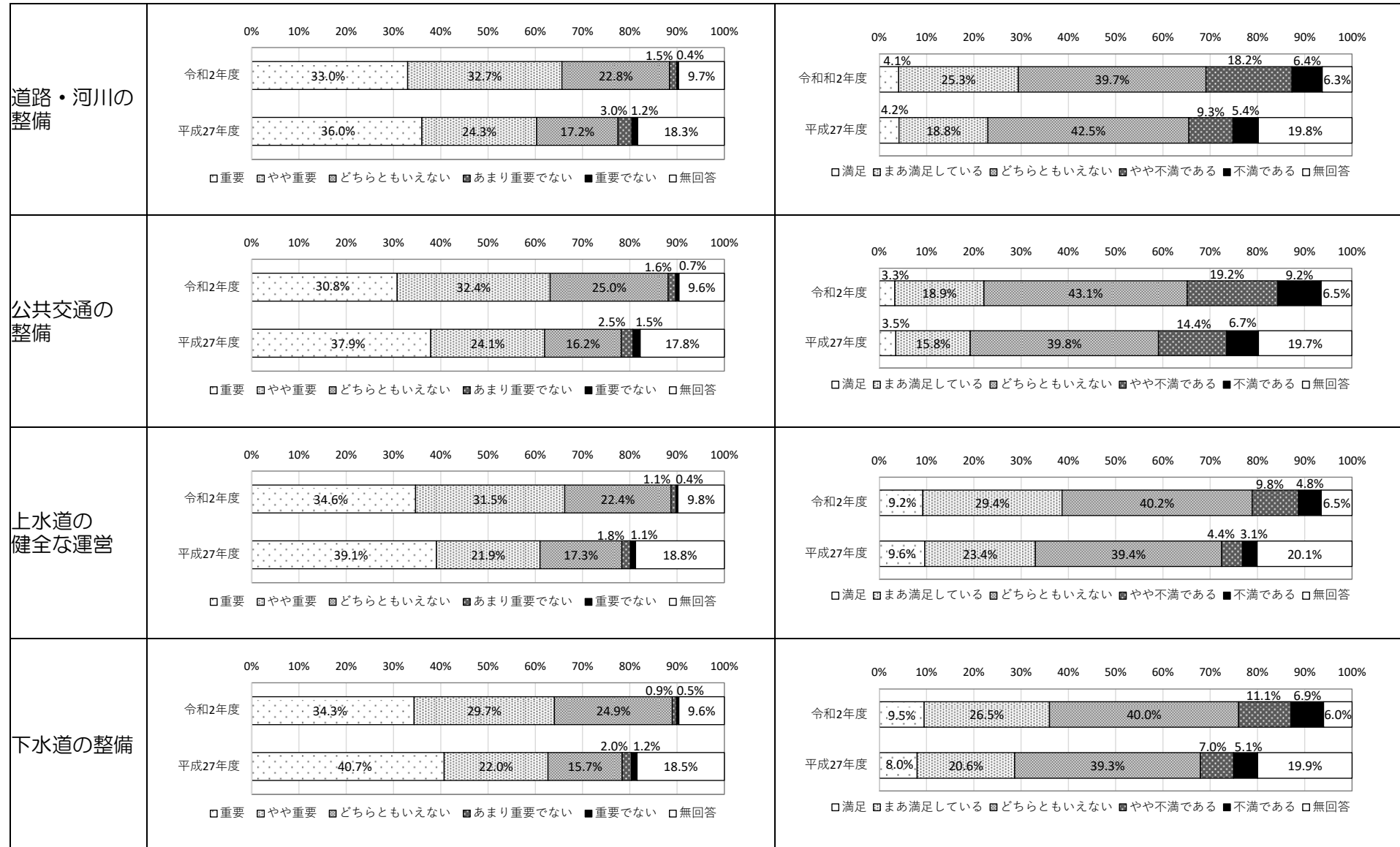
オ 大田原市の全般的な施策や事業等について

<p>基本政策 1：豊かな自然と調和する、安らぎある快適な環境のまちづくり</p>	
<p><重要度></p> <p>施策の重要度は、平成 27 年度調査と比較して「住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進」、「道路・河川の整備」、「公共交通の整備」、「上水道の健全な運営」、「下水道の整備」については『重要』『やや重要』の回答の割合が高くなっているのに対し、「土地利用対策の推進」は前回より 8 ポイントの減少となっていた。</p>	<p><満足度></p> <p>施策の満足度は、平成 27 年度調査と比較してすべての項目で『満足』『まあ満足している』の割合が高くなっていたが、「土地利用対策の推進」においては、『やや不満である』『不満である』が 16.5%と『満足』『まあ満足している』の 13.4%を上回っており、低い評価となっていた。</p>

※今後、詳細な分析を行い、引き続き満足度を高めるための方策の検討が必要である。

基本政策 1	重要度	満足度
生活環境の向上	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>令和2年度 1.1% 0.4%</p> <p>34.0% 34.3% 20.4% 10.0%</p> <p>平成27年度 1.5% 0.8%</p> <p>42.7% 25.3% 13.5% 16.2%</p> <p>□重要 □やや重要 □どちらともいえない □あまり重要でない □重要でない □無回答</p>	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>令和2年度 3.9% 29.6% 48.1% 9.7% 2.9%</p> <p>5.7%</p> <p>平成27年度 3.4% 21.6% 46.8% 7.3% 2.7%</p> <p>18.1%</p> <p>□満足 □まあ満足している □どちらともいえない □やや不満である □不満である □無回答</p>
自然環境の保全	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>令和2年度 2.1% 0.4%</p> <p>26.9% 33.8% 27.1% 9.7%</p> <p>平成27年度 1.1% 0.8%</p> <p>38.5% 27.7% 15.3% 16.6%</p> <p>□重要 □やや重要 □どちらともいえない □あまり重要でない □重要でない □無回答</p>	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>令和2年度 6.0% 29.2% 48.6% 7.5% 1.9%</p> <p>6.7%</p> <p>平成27年度 4.0% 24.1% 45.0% 5.9% 2.4%</p> <p>18.6%</p> <p>□満足 □まあ満足している □どちらともいえない □やや不満である □不満である □無回答</p>





基本政策 2：歴史や伝統文化を継承し、豊かな心を育むまちづくり

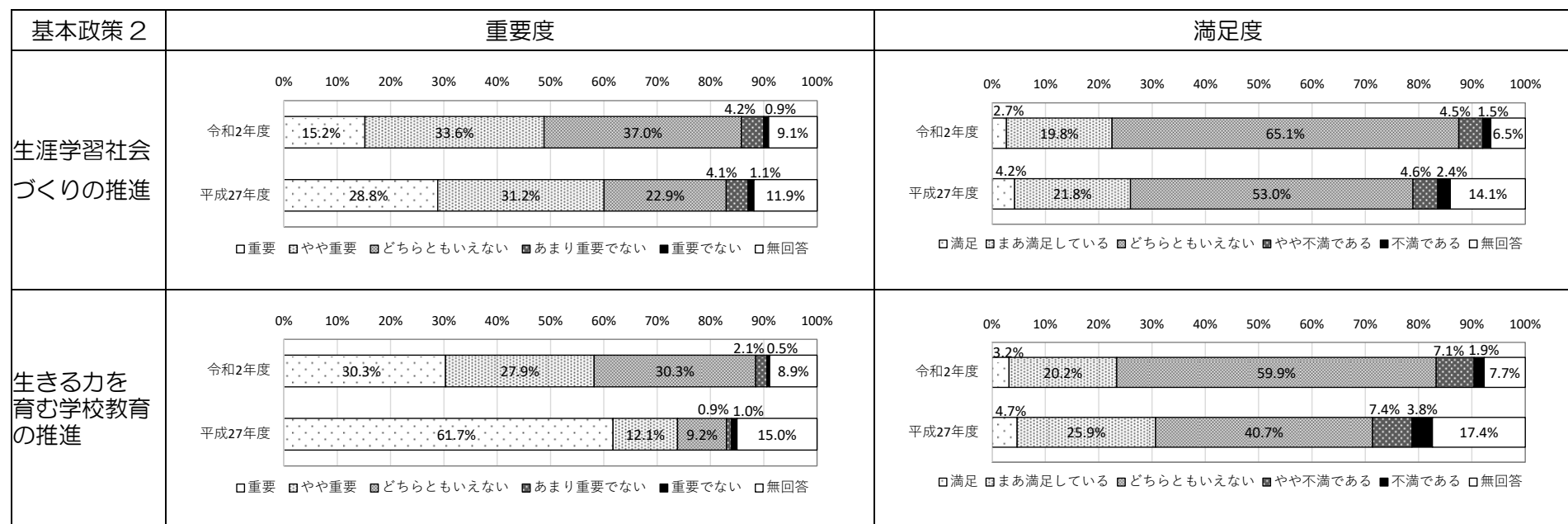
<重要度>

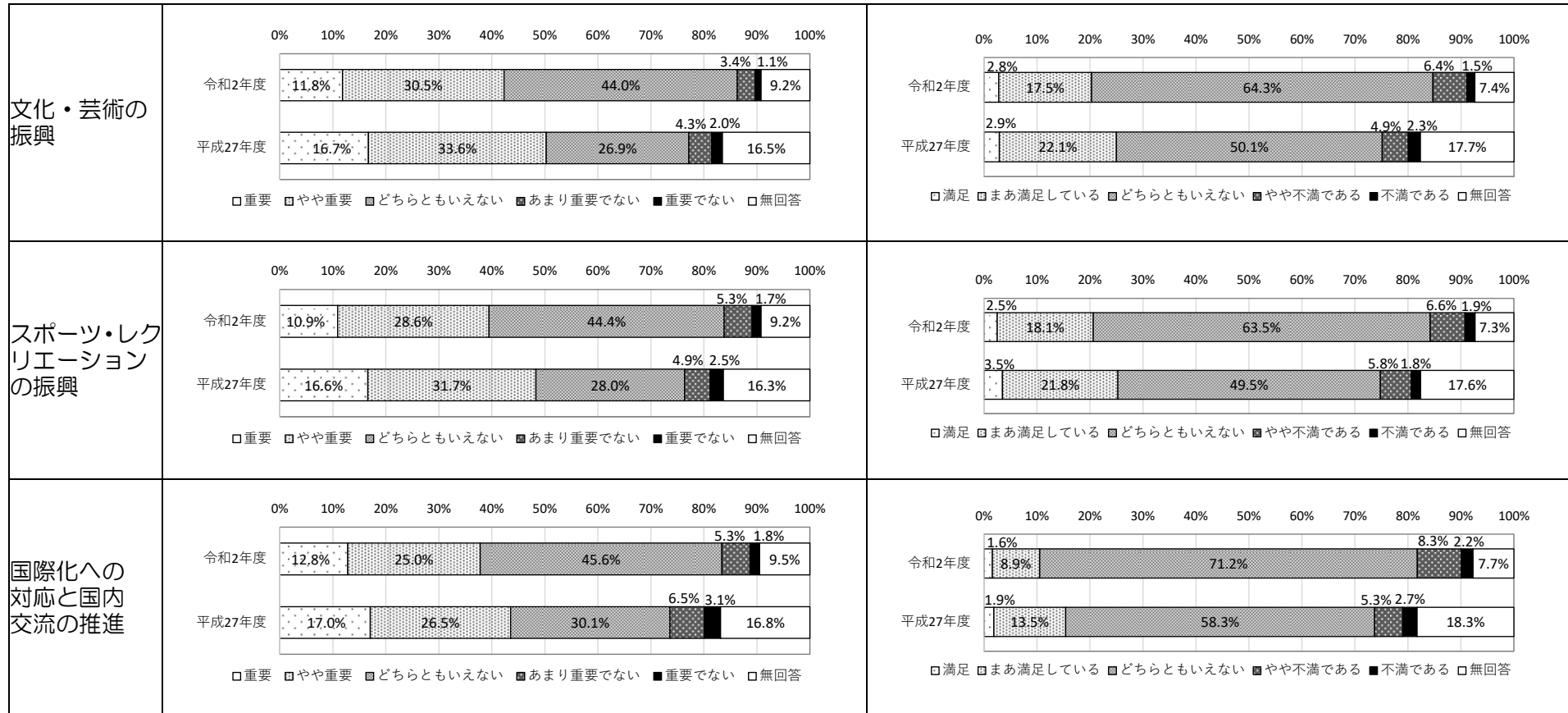
施策の重要度は、平成 27 年度調査と比較してすべての項目で『重要』『やや重要』の回答の割合が低くなっていた。特に「生きる力を育む学校教育の推進」は前回より 15.6 ポイントの減少となっていた。

<満足度>

施策の満足度は、平成 27 年度調査と比較してすべての項目で『満足』『まあ満足している』の割合が低くなっていた。

※今後、詳細な分析を行い、引き続き満足度を高めるための方策の検討が必要である。

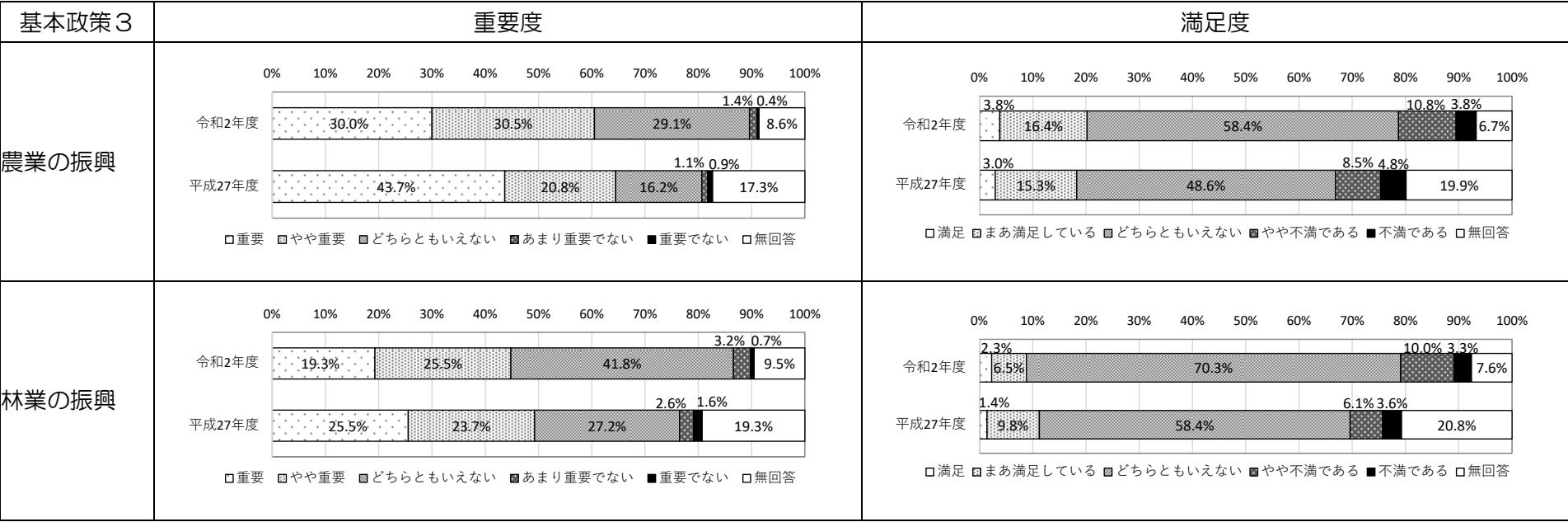


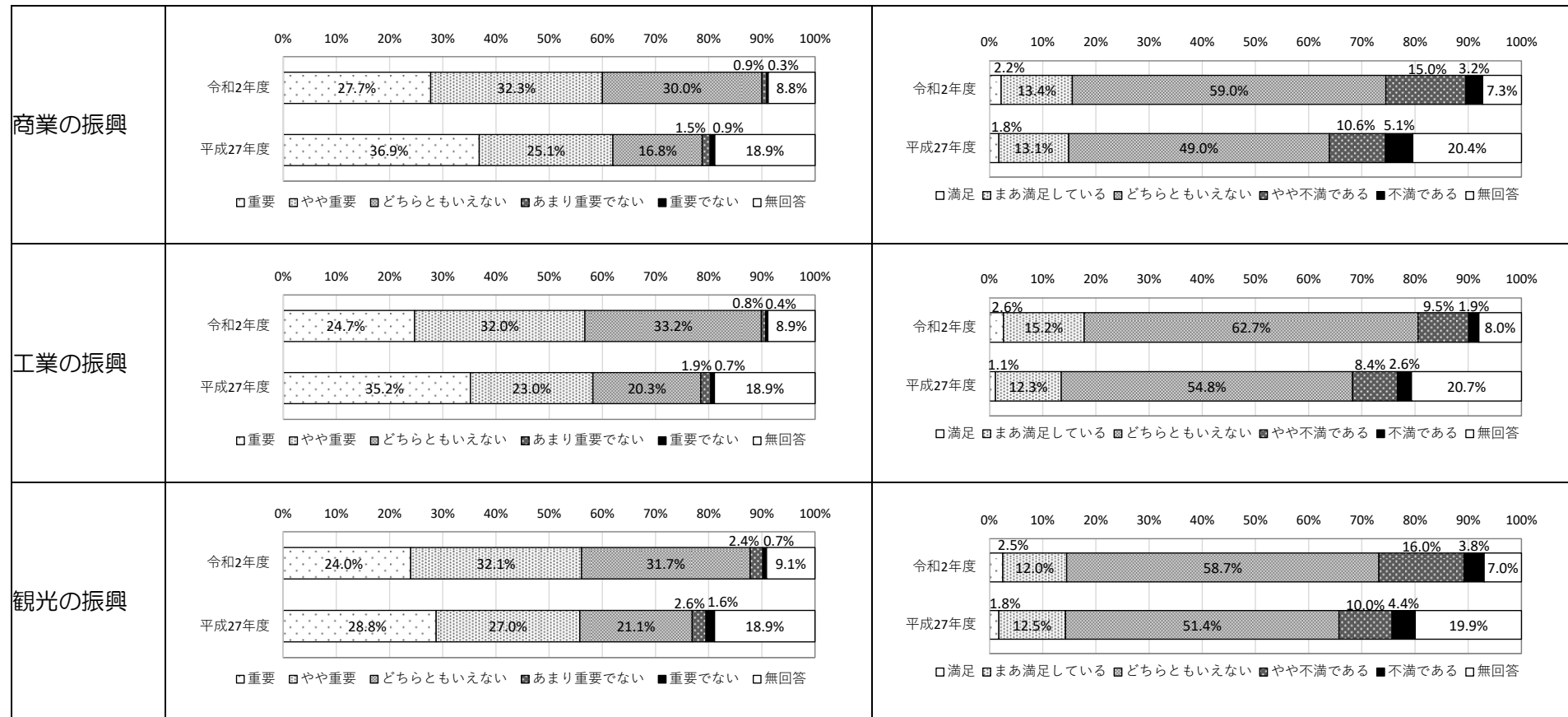


基本政策3：次代につなぐ賑わいを創生する、魅力と活力あふれる産業のまちづくり

<p><重要度></p> <p>施策の重要度は、平成27年度調査と比較して「観光の振興」については『重要』『やや重要』の回答の割合が高くなっているのに対し、「農業の振興」「林業の振興」「商業の振興」「工業の振興」は前回より減少となっていた。</p>	<p><満足度></p> <p>施策の満足度は、平成27年度調査と比較して「農業の振興」「商業の振興」「工業の振興」「観光の振興」については、『満足』『まあ満足している』の回答の割合が高くなっているが、「林業の振興」「商業の振興」「観光の振興」は『やや不満である』『不満である』が上回っている。特に「林業の振興」については、前回より低い評価となっていた。</p>
--	---

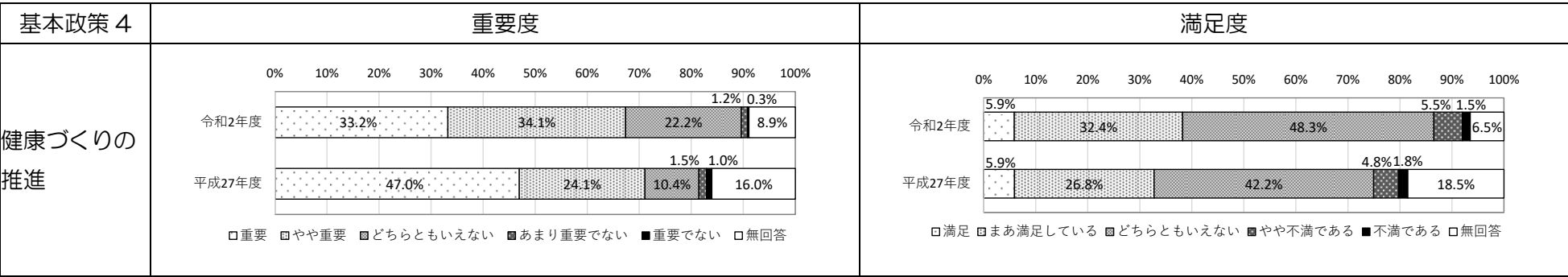
※今後、詳細な分析を行い、引き続き満足度を高めるための方策の検討が必要である。



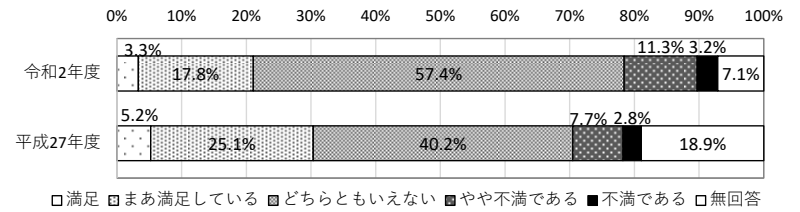
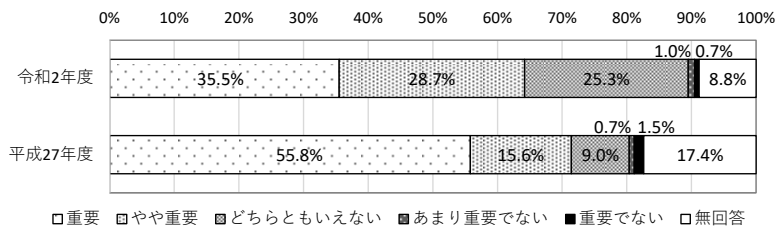


基本政策 4：いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり	
<p><重要度></p> <p>施策の重要度は、平成 27 年度調査と比較して「高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進」については『重要』『やや重要』の回答の割合が高くなっているのに対し、他項目は減少傾向となっていた。</p>	<p><満足度></p> <p>施策の満足度は、平成 27 年度調査と比較して「健康づくりの推進」「高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進」「社会保障の充実」については、『満足』『やや満足』の割合が高くなっていたが、重要度と比較して全体的に低い評価となっている。特に、「地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実」については『やや不満である』『不満である』が 14.2%となっており、『満足』『まあ満足している』の 12.9%を上回っており、前回より低い評価となっていた。また、「障がい者にやさしいまちづくりの推進」についても同様に低い評価となっていた。</p>

※今後、詳細な分析を行い、引き続き満足度を高めるための方策の検討が必要である。



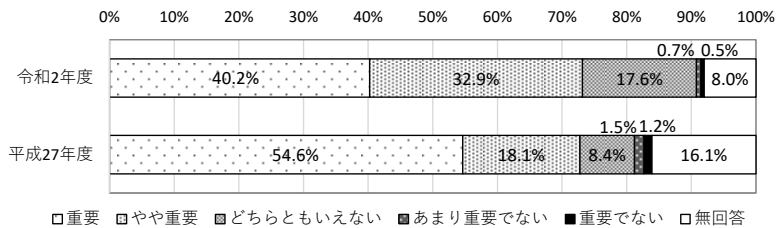
結婚支援と子育て支援の充実



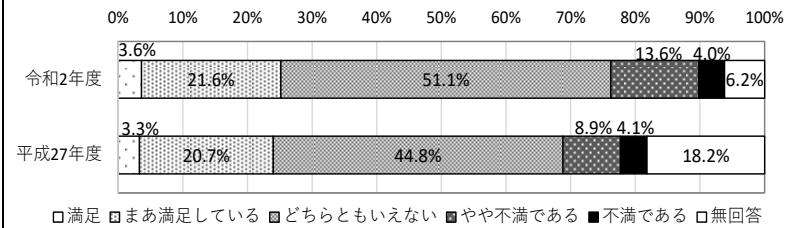
※平成 27 年度調査では「子育て支援の充実」の重要度及び満足度の評価をしたが、令和 2 年度調査では「結婚支援と子育ての充実」が類似施策となっているため、比較を行った。

高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進

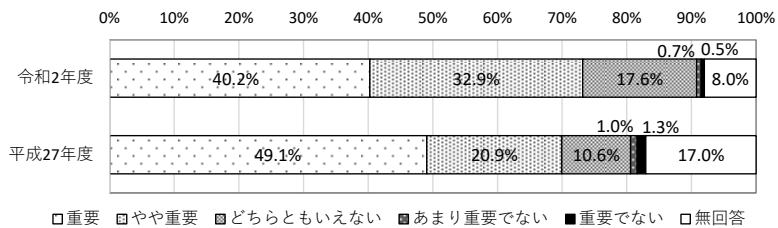
『高齢者福祉の充実』



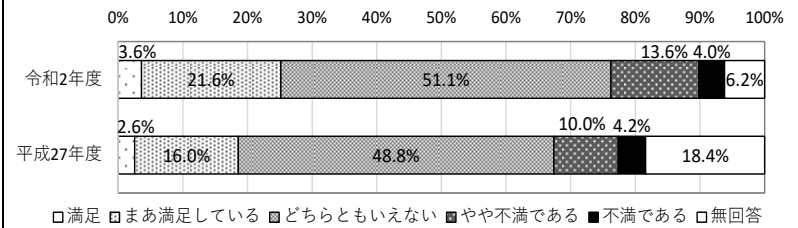
『高齢者福祉の充実』



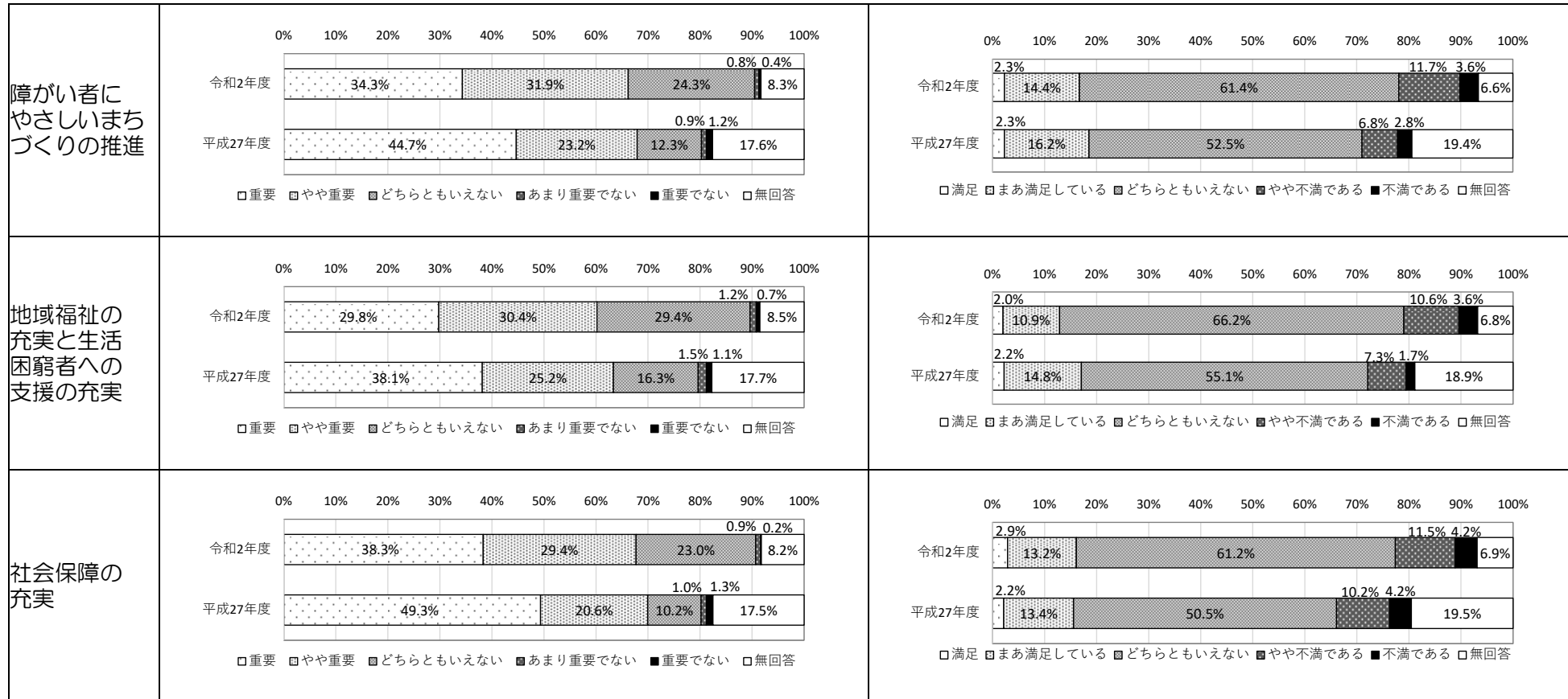
『介護保険の充実』



『介護保険の充実』



※平成 27 年度調査では「高齢者福祉の充実」、「介護保険事業の充実」の重要度及び満足度の評価をしたが、令和 2 年度調査では「高齢者福祉の充実と介護保険事業の推進」が合同施策となっているため、それぞれ比較を行った。



基本政策5：市民にひらかれた安全で安心な明るい地域をともにつくるまちづくり

<重要度>

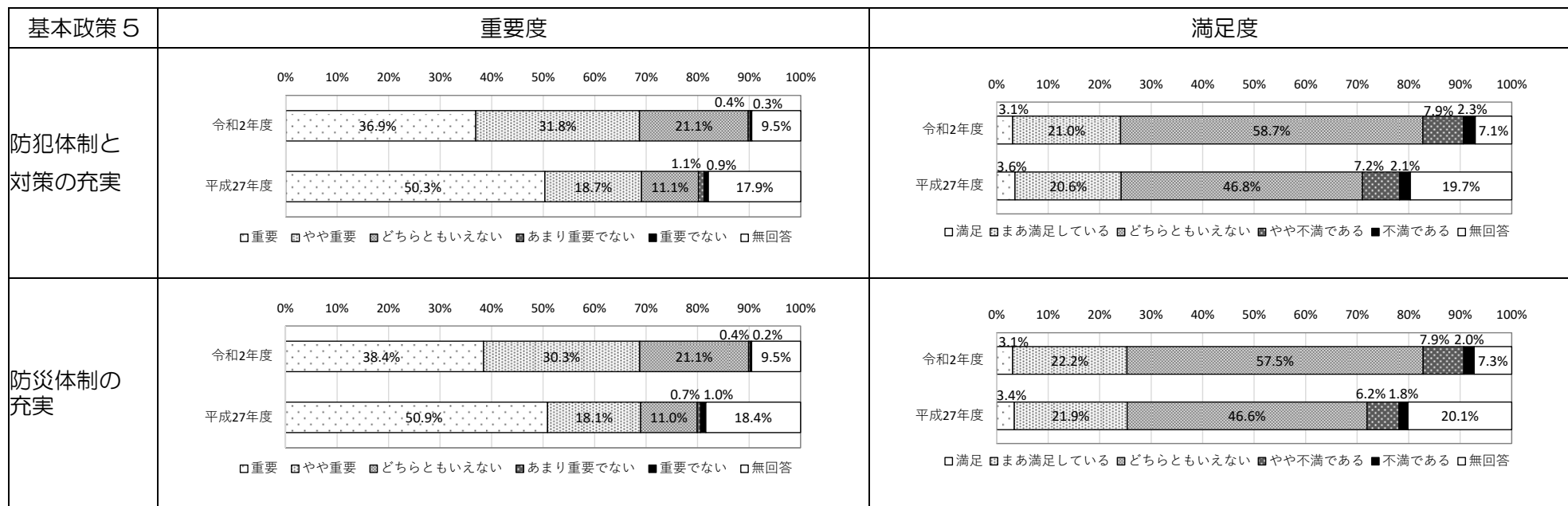
施策の重要度は、平成27年度調査と比較してすべての項目で『重要』『やや重要』の回答の割合が低くなっていた。特に「人権尊重意識の普及と高揚」は前回より14.1ポイントの減少となっていた。

<満足度>

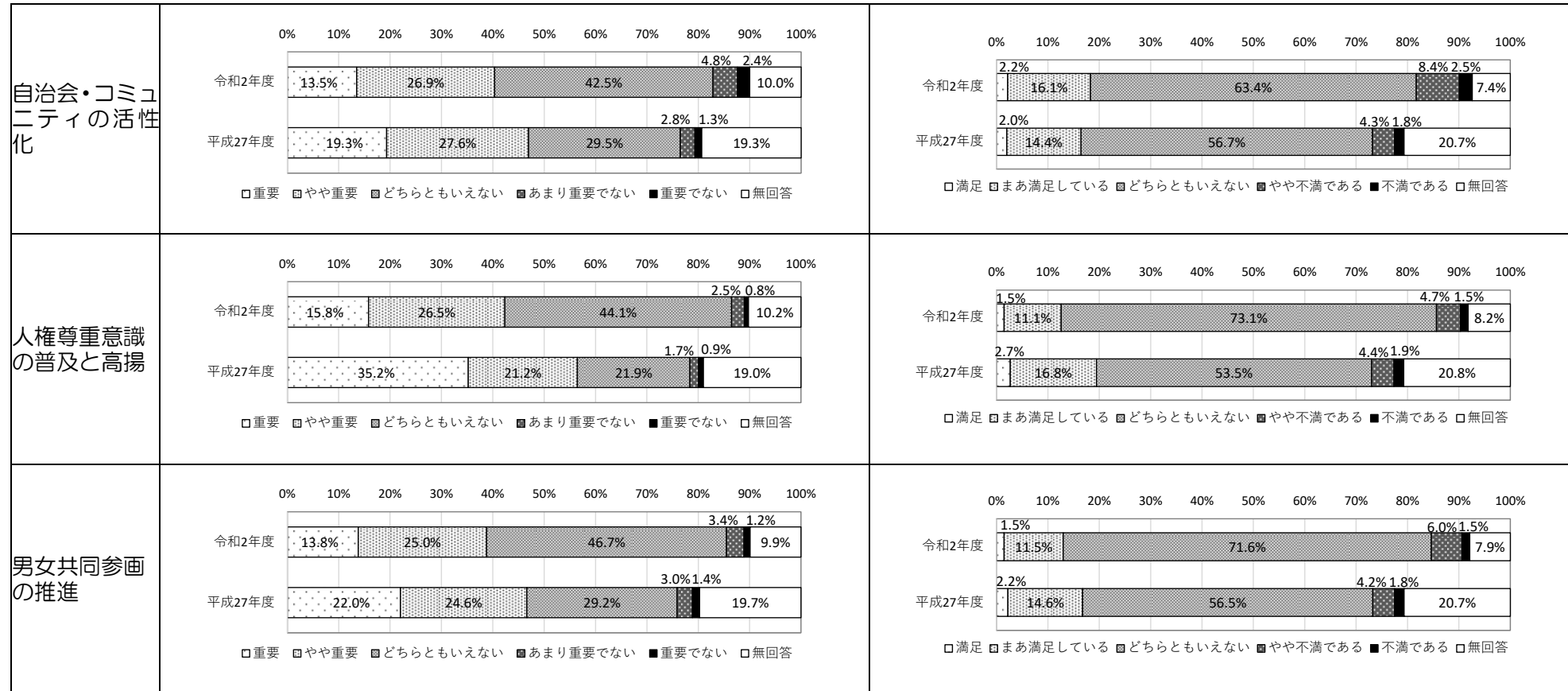
施策の満足度は、平成27年度調査と比較して「交通安全対策の推進」「自治会・コミュニティの活性化」で『満足』『やや満足』の割合が高くなっていたが、全体的に低い評価となっていた。特に、「消費者保護対策の充実」「市民参加行政の充実」「人権尊重意識の普及と高揚」「男女共同参画の推進」については、前回より低い評価となっていた。

なお、「広報広聴活動の充実」については、令和2年度調査より新たに加えた調査項目となっているため、平成27年度調査との比較は実施していない。

※今後、詳細な分析を行い、引き続き満足度を高めるための方策の検討が必要である。



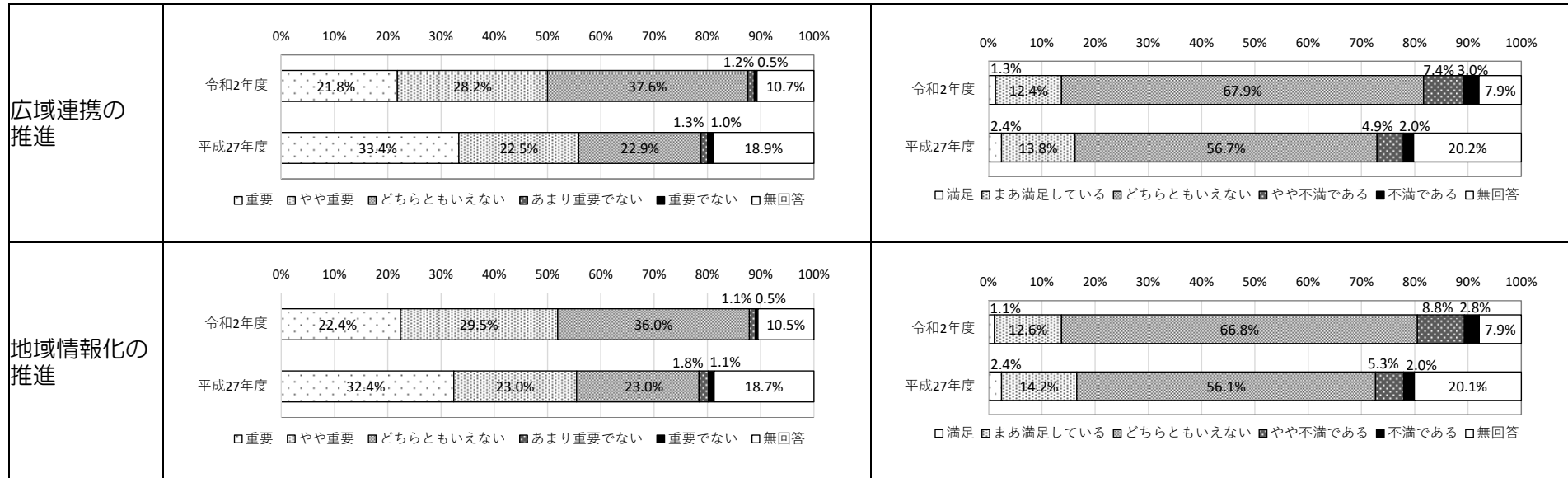
<p>交通安全対策の推進</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>重要</th> <th>やや重要</th> <th>どちらともいえない</th> <th>あまり重要でない</th> <th>重要でない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>34.7%</td> <td>32.1%</td> <td>22.6%</td> <td>9.7%</td> <td>0.7%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>45.1%</td> <td>22.2%</td> <td>12.4%</td> <td>18.5%</td> <td>0.8%</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答	令和2年度	34.7%	32.1%	22.6%	9.7%	0.7%	0.2%	平成27年度	45.1%	22.2%	12.4%	18.5%	0.8%	1.0%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>まあ満足している</th> <th>どちらともいえない</th> <th>やや不満である</th> <th>不満である</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>3.4%</td> <td>21.5%</td> <td>57.2%</td> <td>7.7%</td> <td>2.9%</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>3.2%</td> <td>21.2%</td> <td>46.7%</td> <td>6.4%</td> <td>2.2%</td> <td>20.2%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答	令和2年度	3.4%	21.5%	57.2%	7.7%	2.9%	7.3%	平成27年度	3.2%	21.2%	46.7%	6.4%	2.2%	20.2%
年度	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答																																						
令和2年度	34.7%	32.1%	22.6%	9.7%	0.7%	0.2%																																						
平成27年度	45.1%	22.2%	12.4%	18.5%	0.8%	1.0%																																						
年度	満足	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答																																						
令和2年度	3.4%	21.5%	57.2%	7.7%	2.9%	7.3%																																						
平成27年度	3.2%	21.2%	46.7%	6.4%	2.2%	20.2%																																						
<p>消費者保護対策の充実</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>重要</th> <th>やや重要</th> <th>どちらともいえない</th> <th>あまり重要でない</th> <th>重要でない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>20.5%</td> <td>32.0%</td> <td>35.8%</td> <td>10.2%</td> <td>1.3%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>27.2%</td> <td>25.9%</td> <td>25.6%</td> <td>18.9%</td> <td>1.8%</td> <td>0.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答	令和2年度	20.5%	32.0%	35.8%	10.2%	1.3%	0.2%	平成27年度	27.2%	25.9%	25.6%	18.9%	1.8%	0.7%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>まあ満足している</th> <th>どちらともいえない</th> <th>やや不満である</th> <th>不満である</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1.8%</td> <td>11.1%</td> <td>70.2%</td> <td>7.4%</td> <td>1.7%</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1.7%</td> <td>12.7%</td> <td>57.5%</td> <td>5.6%</td> <td>2.1%</td> <td>20.5%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答	令和2年度	1.8%	11.1%	70.2%	7.4%	1.7%	7.9%	平成27年度	1.7%	12.7%	57.5%	5.6%	2.1%	20.5%
年度	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答																																						
令和2年度	20.5%	32.0%	35.8%	10.2%	1.3%	0.2%																																						
平成27年度	27.2%	25.9%	25.6%	18.9%	1.8%	0.7%																																						
年度	満足	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答																																						
令和2年度	1.8%	11.1%	70.2%	7.4%	1.7%	7.9%																																						
平成27年度	1.7%	12.7%	57.5%	5.6%	2.1%	20.5%																																						
<p>市民参加行政の充実</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>重要</th> <th>やや重要</th> <th>どちらともいえない</th> <th>あまり重要でない</th> <th>重要でない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>12.1%</td> <td>27.8%</td> <td>45.9%</td> <td>10.2%</td> <td>3.0%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>19.1%</td> <td>27.4%</td> <td>30.6%</td> <td>19.0%</td> <td>2.6%</td> <td>1.3%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答	令和2年度	12.1%	27.8%	45.9%	10.2%	3.0%	1.0%	平成27年度	19.1%	27.4%	30.6%	19.0%	2.6%	1.3%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>まあ満足している</th> <th>どちらともいえない</th> <th>やや不満である</th> <th>不満である</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1.6%</td> <td>11.4%</td> <td>69.7%</td> <td>7.3%</td> <td>2.1%</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>2.1%</td> <td>12.7%</td> <td>58.1%</td> <td>4.3%</td> <td>2.2%</td> <td>20.6%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答	令和2年度	1.6%	11.4%	69.7%	7.3%	2.1%	7.9%	平成27年度	2.1%	12.7%	58.1%	4.3%	2.2%	20.6%
年度	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答																																						
令和2年度	12.1%	27.8%	45.9%	10.2%	3.0%	1.0%																																						
平成27年度	19.1%	27.4%	30.6%	19.0%	2.6%	1.3%																																						
年度	満足	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答																																						
令和2年度	1.6%	11.4%	69.7%	7.3%	2.1%	7.9%																																						
平成27年度	2.1%	12.7%	58.1%	4.3%	2.2%	20.6%																																						
<p>広報広聴活動の充実</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>重要</th> <th>やや重要</th> <th>どちらともいえない</th> <th>あまり重要でない</th> <th>重要でない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>12.0%</td> <td>27.6%</td> <td>46.0%</td> <td>10.3%</td> <td>3.1%</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答	令和2年度	12.0%	27.6%	46.0%	10.3%	3.1%	1.0%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>まあ満足している</th> <th>どちらともいえない</th> <th>やや不満である</th> <th>不満である</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2.2%</td> <td>17.0%</td> <td>64.7%</td> <td>6.2%</td> <td>1.9%</td> <td>8.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答	令和2年度	2.2%	17.0%	64.7%	6.2%	1.9%	8.0%														
年度	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答																																						
令和2年度	12.0%	27.6%	46.0%	10.3%	3.1%	1.0%																																						
年度	満足	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答																																						
令和2年度	2.2%	17.0%	64.7%	6.2%	1.9%	8.0%																																						
<p>※「広報広聴活動の充実」については令和2年度調査より新たに加えた項目であり、類似項目もないため平成27年度調査との比較は行っていない。</p>																																												



基本政策6：情報化と広域連携を進め、効率的・効果的な行財政運営のまちづくり	
<p><重要度></p> <p>施策の重要度は、平成27年度調査と比較してすべての項目で『重要』『やや重要』の回答の割合が低くなっていた。</p>	<p><満足度></p> <p>施策の満足度は、平成27年度調査と比較してすべての項目で『満足』『やや満足』の割合が低くなっていた。また、「行政の効率的・効果的運営」「財政の健全運営」は『やや不満である』『不満である』が『満足』『やや満足』より上回っており、満足度の評価が低くなっている。</p>

※今後、詳細な分析を行い、引き続き満足度を高めるための方策の検討が必要である。

基本政策6	重要度	満足度
行政の効率的・効果的運営	<p>重要度</p> <p>令和2年度: 重要 30.9%, やや重要 27.3%, どちらともいえない 30.0%, あまり重要でない 0.9%, 重要でない 0.4%, 無回答 10.5%</p> <p>平成27年度: 重要 48.5%, やや重要 16.3%, どちらともいえない 15.7%, あまり重要でない 0.7%, 重要でない 0.9%, 無回答 17.9%</p> <p>□重要 □やや重要 □どちらともいえない □あまり重要でない □重要でない □無回答</p>	<p>満足度</p> <p>令和2年度: 満足 12.2%, まあ満足している 62.1%, どちらともいえない 12.2%, やや不満である 4.1%, 不満である 7.5%, 無回答 1.9%</p> <p>平成27年度: 満足 17.8%, まあ満足している 51.1%, どちらともいえない 5.5%, やや不満である 3.0%, 不満である 19.8%, 無回答 2.8%</p> <p>□満足 □まあ満足している □どちらともいえない □やや不満である □不満である □無回答</p>
財政の健全運営	<p>重要度</p> <p>令和2年度: 重要 39.4%, やや重要 24.0%, どちらともいえない 25.6%, あまり重要でない 0.7%, 重要でない 0.2%, 無回答 10.1%</p> <p>平成27年度: 重要 51.5%, やや重要 13.6%, どちらともいえない 14.8%, あまり重要でない 0.9%, 重要でない 0.9%, 無回答 18.3%</p> <p>□重要 □やや重要 □どちらともいえない □あまり重要でない □重要でない □無回答</p>	<p>満足度</p> <p>令和2年度: 満足 11.8%, まあ満足している 58.8%, どちらともいえない 13.5%, やや不満である 6.7%, 不満である 7.7%, 無回答 1.5%</p> <p>平成27年度: 満足 14.7%, まあ満足している 52.0%, どちらともいえない 6.9%, やや不満である 4.0%, 不満である 19.8%, 無回答 2.6%</p> <p>□満足 □まあ満足している □どちらともいえない □やや不満である □不満である □無回答</p>



カ 少子化に歯止めをかけるための対策

少子化対策についての令和2年度調査は、平成27年度調査より「結婚に対する支援を充実する」を新たに追加した。

5年前と比較すると、概ね同様の結果となっているが「保育所などの子育て支援サービスを充実する」が7.2%の減少、「安定した家庭を築くための就労を支援する」が7.0%の減少となっている。

「妊娠、出産に対する支援を充実する」と「男性も積極的に子育てに参加するよう男女共同参画を推進する」が増加傾向にある。

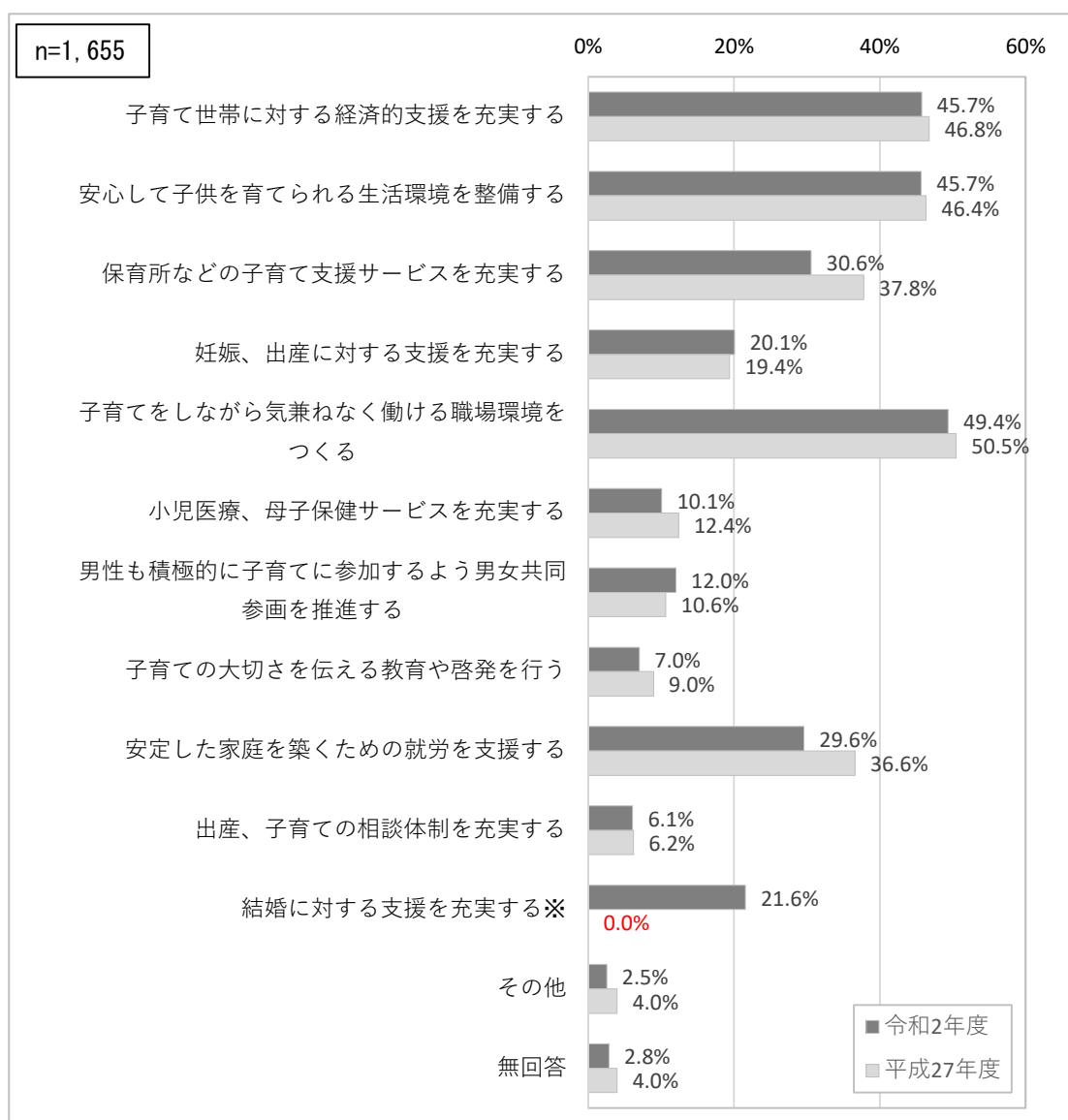


図 13 少子化に歯止めをかけるための対策（3つまで回答）

※「結婚に対する支援を充実する」については、令和2年度調査より新たに追加した項目となるため、平成27年度調査結果は0.0%となっている。

キ 豊かな老後を送るために必要と思うこと

高齢化について、「健康に不安がないこと」が64.0%と最も高く、次いで「財産や預金が足りていること」が40.9%、「家族がいること」が36.0%となっている。

5年前と比較すると、概ね同様の結果となっているが「財産や預金が足りていること」が6.2%、「老人ホームなどの福祉施設が充実していること」が2.7%の増加となっている。また、「年金や退職金がもらえること」が7.2%減少している。

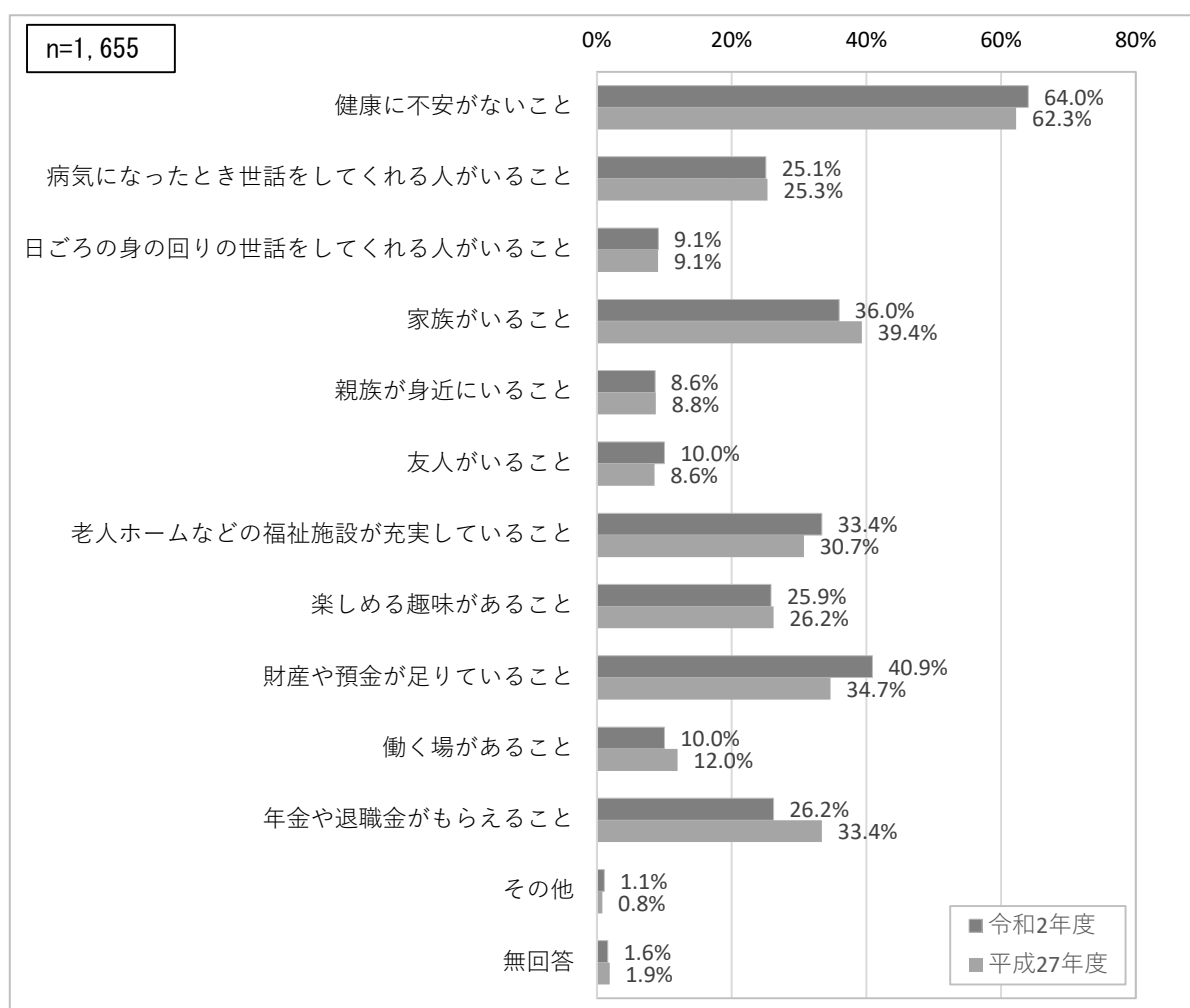


図 14 豊かな老後を送るために必要と思うこと（3つまで回答）

ク 市民活動への参加経験及び今後参加したい市民活動

市民活動への参加経験について、「参加したことがある。今後も参加したい」が 26.2%、「参加したことがある。今後は参加したくない」が 10.8%、「参加したことがない。今後は参加したい」が 23.7%、「参加したことがない。今後も参加したくない」が 33.7%となっています。

参加したことがある市民活動または今後参加したい市民活動をみると、「スポーツ活動」が 33.5%と最も多く、次いで「保健・医療・健康づくり」が 32.1%、「防災・防犯・交通安全」が 26.8%と多くなっています。また、平成 27 年度調査と比較すると、全体的に回答割合が高くなっています。

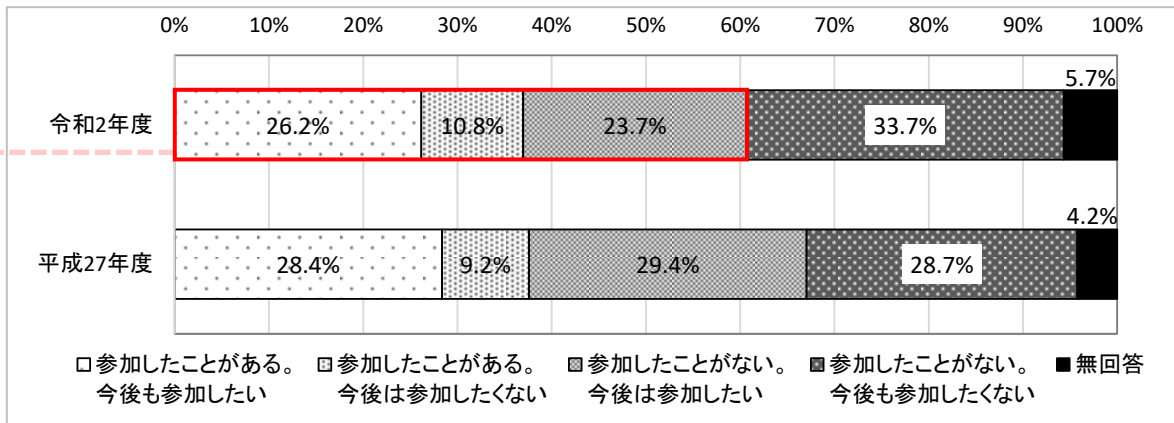


図 15 市民活動への参加経験（令和 2 年度と平成 27 年度の調査比較）

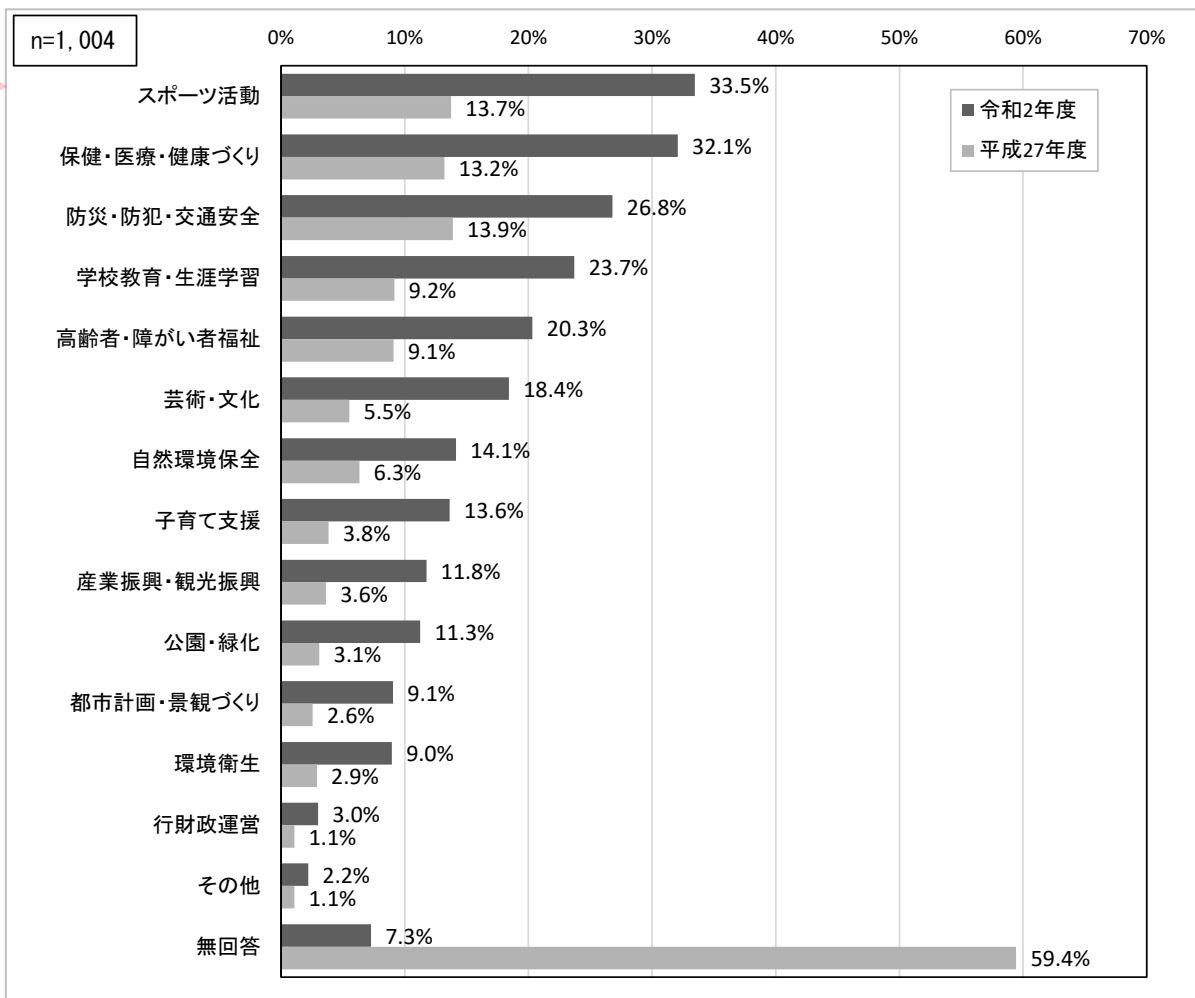


図 16 参加したことがある市民活動または今後参加したい市民活動（令和 2 年度と平成 27 年度の調査比較）（3 つまで回答）

ケ 今後求める市の姿

今後求める市の姿について、「医療・福祉サービスの充実したまち」が63.9%と最も高く、次いで「高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち」が56.5%、「少子化対策の充実したまち」が30.4%となっている。

5年前と比較すると、概ね同様の結果となっているが福祉の分野に関して増加傾向となっている。

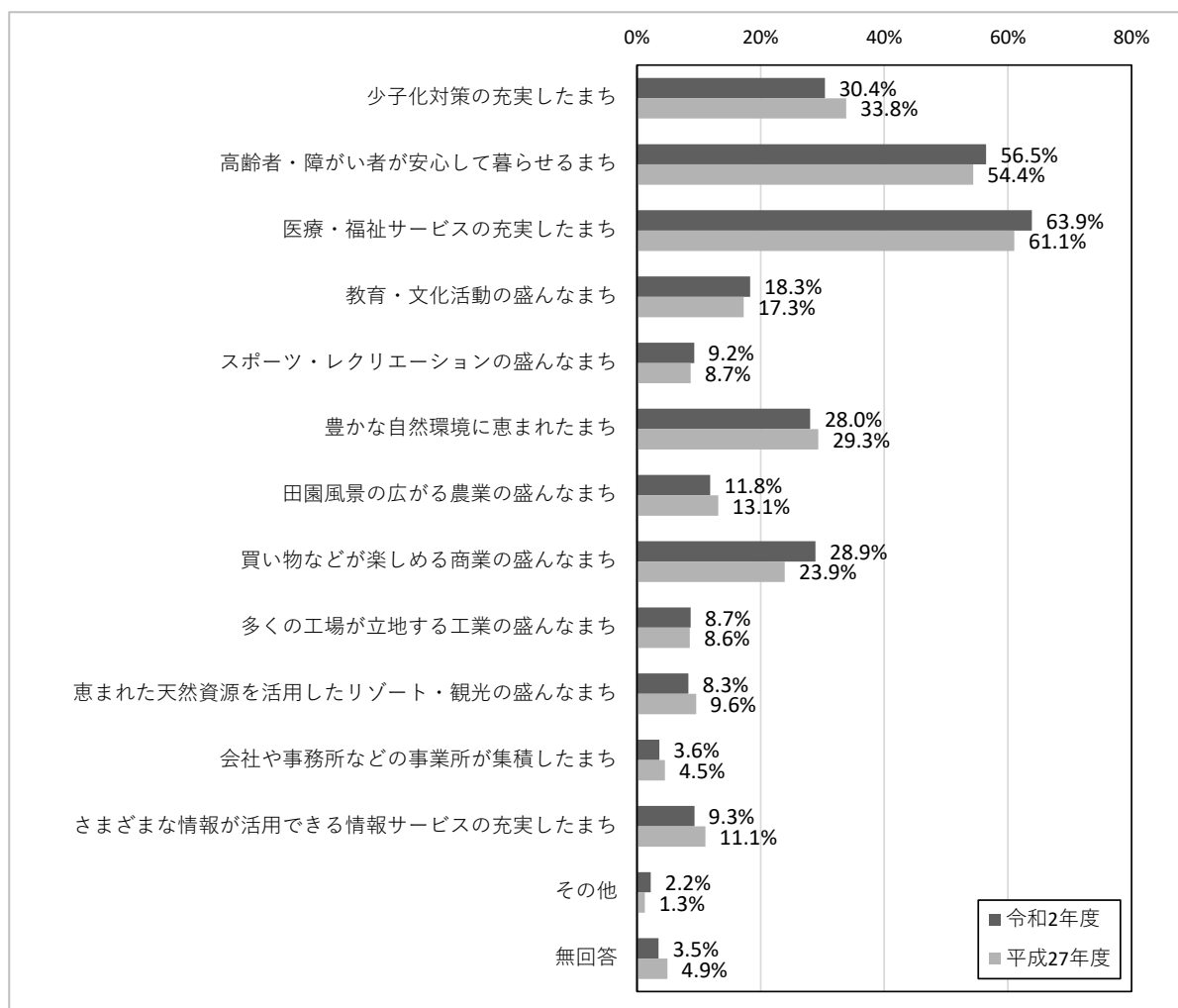


図 17 今後求める市の姿 (3 つまで回答)

5. 今後の対応

今後、年代別、性別、地域別に詳細な分析を行い、市民の皆様からいただいた貴重なご意見を後期基本計画策定に反映させていく。